

令和5年度第1回市民が主役のまちづくり事業支援委員会会議録

1. 開催日 令和5年6月20日(火)
2. 時間 午後1時10分から午後4時
3. 開催場所 君津市役所 5階大会議室
4. 議題 (1)令和5年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて
(2)令和5年度2次募集申請事業の採択協議について
(3)令和4年度実施事業の実績報告について
5. 公開又は非公開の別
(1)(3)については、公開。(2)については委員の自由な討論が制限されると認められるため非公開(君津市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1項第2号)。
6. 出席委員 11名
榎本 光男 伯ヶ部 喜久男 佐藤 ますみ 嶋野 淳
四宮 美智江 鈴木 富雄 座間 信子 永井 直樹
新田 力男 藤川 英生 松崎 正行
7. 出席職員 4名
市民生活部市民活動支援課
地域コミュニティ推進係係長 小 高 徹
地域コミュニティ推進係副主査 中村 亮彦
地域コミュニティ推進係主任主事 佐藤 玲子
地域コミュニティ推進係主事 前田 真帆
8. 傍聴者 なし

開会(午後1時10分)

小高係長 本日はご多用のところ、ご出席を頂き、誠にありがとうございます。本日司会を勤めさせていただきます、市民活動支援課の小高と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、新年度迎えます、初めての委員会ですので、初めに事務局職員の紹介を行います。

— 職員紹介 —

小高係長 次に、開会にあたりまして、榎本委員長からご挨拶をいただきたいと思

榎本委員長 — 委員長挨拶 —

小高係長 ありがとうございます。

それでは、委員会設置要綱第5条第1項により、榎本委員長に進行をお願いいたします。

榎本委員長 議事に入る前に、新たな委員のご紹介をさせていただきます。

茅野委員の君津市自治会連絡協議会会員の任期満了に伴い同協議会から推薦いただきました松崎正行委員でございます。

松崎委員、自己紹介をお願いいたします。

松崎委員 — 委員挨拶 —

榎本委員長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

本日の出席委員は11名でございます。よって、定足数に達しておりますので、これより令和5年度第1回市民が主役のまちづくり事業支援委員会を開会します。

なお、鈴木節子委員は所用により、本日、欠席となっておりますのでご報告いたします。

本委員会は、君津市審議会等の会議の公開に関する規則に基づき公開されておりますが、本日の傍聴はありません。

また、本委員会の会議録は、後日、市のホームページで公開されますので、ご了承願います。

議題1「令和5年度2次募集申請事業(5団体)の公開プレゼンテーションについて」

榎本委員長 はじめに、議題1「令和5年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」、議題2「令和5年度2次募集申請事業の採択協議について」事務局からの説明を求めます。

事務局

それでは、「議題1 令和5年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」「議題2 令和5年度2次募集申請事業の採択協議について」ご説明をさせていただきます。

まず、本日のスケジュールからご説明いたします。

審査会資料のインデックスの2番目に綴じてあります、「スケジュール」をご覧ください。

本日のプレゼンテーションは5件です。1時30分からプレゼンテーションを開始し、事業番号9番の審査終了後と事業番号12番の審査終了後にトイレ休憩を挟みまして、終了時刻は4時10分を予定しております。

次に審査方法についてご説明いたします。

インデックスの4番目に綴じてあります、「審査要領」をご覧ください。

審査は、応募書類と団体によるプレゼンテーションをもとに行います。発表時間は、1団体につきプレゼンテーション5分、質問時間10分の計15分といたします。ただし、新規団体については、プレゼンテーション10分、質問時間10分の計20分といたします。

審査にあたっては、別綴りの事前審査結果一覧表をご覧ください。

1枚めくっていただきますと、事業番号順に事前審査表がございます。1ページ目が要件審査となっております。2ページ目が事業内容の審査となっております。事業内容の審査に記載されている審査項目を主なポイントとして評価していただきたいと思っておりますので、プレゼンテーションを受ける際には、審査項目に留意しながらお聞きいただければと思います。5ページ以降は事業番号順に同様の審査表となっております。

なお、この事前審査表には、事務局の予備審査による点数等が記載されております。こちらは、要件審査欄の○×を含めて、事務局採点の平均値であって、たたき台としてお示しするものであります。各団体側には点数を伝えておりませんので、その点、ご留意いただければと思います。

次に、事業ごとに1枚ずつ送付してありますA3の「市民が主役のまちづくり事業審査票」をご覧ください。

委員の皆さまには、各団体のプレゼンテーション終了ごとに、評価できる点や不十分な点、採択にあたって条件を付けるべき点などについて協議していただき、団体のプレゼンテーション・事務局の事前評価・委員の皆さまの協議でのご意見を踏まえた上で、事業審査票の委員評価の

欄を記入していただきます。委員評価の欄に、点数が記載されておりますので、該当する点数を丸で囲ってください。

また、採点点数が高かった項目、低い項目を中心にその理由について、記入をお願いいたします。記入が終了しましたら、審査票は回収させていただきます。

全団体のプレゼンテーション終了後、委員長から採否についてご報告をいただきます。なお、出席委員の過半数が基準点以上を付けた事業について採択するべきものとして、決定いたします。

最終的な採否については、本日の審査会の結果をもとに、市長が決定いたします。

榎本委員長 以上で、説明を終わります。

事務局の説明についてご質問などがありましたらお願いいたします。

榎本委員長 (発言するものなし)

それでは、発表団体の準備が整い次第、プレゼンテーション審査を開始いたします

事業番号 8

事業名 君津青葉高校生と取り組む久留里・上総小櫃地区花いっぱい運動

団体名 君津青葉花いっぱい委員会

プレゼンテーション

榎本委員長 事業番号8番、事業名「君津青葉高校生と取り組む久留里・上総小櫃地区花いっぱい運動」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 ー 画面共有にて説明 ー

質疑応答

新田委員 青葉高校さんから、いつも夏野菜の苗を購入させていただいております。今年はとりわけ立派な苗を低価格で購入いたしまして、順調に苗も育ち、もう収穫もさせていただいております。

そんな中でございますが、この花の件について、違った観点からご質問をさせていただきたいのですが、この活動は、将来にわたって、自立をしていただいで、継続的に進めていただくのが基本になっている。そういった意味では、所謂、団体からの負担金が今現在0円になっている。負担金を稼ぐという言い方は適当ではないかもしれないが、無料で配布をするという考え方もあろうかと思えますけども、例えば10円でも20円でも、

そういう価格で販売することによって、自己負担金をある程度の金額、確保できると。そういった意味では、無料ではなく、少し有料でお渡しするという事は考えられてはおりませんか。

団体

おっしゃる通り、最終的には自走していかなきゃいけないというのが活動の最終目標だと思うんですけども、実は昨年度スタートする時に、うちの学校の事情なんですけれども、農業関係で花を担当している職員が一気に入れ替わったという状況がございまして。今、学校でも団塊の世代がどんどん退職されていて、若い先生が増えてきているという中で、地域との連携ですとか、あるいは花づくりの技術というのを、なかなか昔のOBの方に頼っていたようにいかないというのが現状で、要するに、しっかり販売できるような花を作れるかどうかというの、管理職としては、実はすごく心配しておりまして、昨年度はその中で、実は冬場はパンジーとかもって観賞価値の高いお花を提供したいと思っていたのですが、なかなかうまく栽培することができなかったというような事情もございまして。

市民の方々に、協力していただいている団体さんには、例えば、花壇苗をもらうのではなくて、例えば、今、小湊鉄道の沿線ですと、自分で菜の花の種をまいてとか、そういうふうな花壇の作り方もありますので、それは平行して実際やらせていただきたいと思いますし、将来的には、少しでもお金をいただいてというところも考えていく必要があるのではないかなと考えております。

藤川委員

この間、事業視察に行かせてもらいまして、実際に生徒さんや先生方が一生懸命やられているのを拝見したんですが、その時に、マニュアルがあったら送っていただけないかと話したら、事務局を通じて送っていただいて、非常に参考になりました。ここにも、マニュアルを作成してということで書いてありますけども、昨年よりもっと色々工夫してやるというお話もありましたので、新田委員の話とつながりますけども、マニュアルをある程度の有償で販売するとか、学校の近隣でない地域の人、希望があったら購入できるとか、そういうことをお考えいただいたらどうかなと思います。市民に対して色々なサービスを兼ね備えて、ある程度有償で販売するとか、そういうこともお考えになったらどうかなと思います。

団体

我々、公立の学校なので、簡単に販売したりというのは、実は色々な行政の指導とかございまして、できない部分がございますし、マニュアルとか、そういったものについては、学校のホームページや、最近ですと、若い子に発信しようということでSNSを使って学校の情報を発信してございますので、そういった中でマニュアルや栽培方法は、有償でということとはちょっと考えていないのですが、十分提供することは可能だと考えて

います。

事業番号 9

事業名 地域内外の交流拠点「(仮称) 清和ウェルカムハウス」

団体名 コミュニティ清和

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号9番、事業名「地域内外の交流拠点「(仮称) 清和ウェルカムハウス」」のプレゼンテーションを始めます。

 なお、佐藤委員は「コミュニティ清和」の会員であるため、除斥となりますので、プレゼンテーション及び採択協議の際は発言をお控えいただきますようお願いいたします。

 発表時間は10分、質疑応答が10分となります。

 団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 ー 画面共有にて説明 ー

質疑応答

伯ケ部委員 示していただいた写真の中に色々ありましたけれども、実際にもうお店みたいなのはあるんですか？

団体 今はありません。これはイメージ図です。今は家を探すところまでしかいっておりません。それを、できればこういうお店っぽくしたいなど。ただ予算との関係もございますので、この1年の中でどれだけできるかというのは、ちょっと今はわかりません。あとは、来年、秋元小のリノベーションが終わりますので、そちらに、どちらかというと拠点が移るみたいな形になります。それまでのプロトタイプみたいなことを、この1年かけて清和ウェルカムハウスでやってみたいというふうに考えております。

伯ケ部委員 この次のページでしたか、上の写真もイメージ写真でしょうか。

団体 これは実際に空き家ツアーをやっているところで、今年の2月に実施した風景でございます。これは、松丘地区の空き家を5件ほど、案内しているところです。

座間委員 私は亀山で、このことはとても切実に、どんなことかなと今日は楽しみに興味を持って聞かせていただきました。稲作体験やトラック市なんかを実施されているので、動員人数がどれくらいあったのか聞きたいのが一つと、あと、伯ケ部委員の付随になるのですが、これからそういうゲストハウスやコミュニティのところに常設した場合に、誰かがいるという訳ですか。

団体 今のところは、誰かがいるという感じにはできないので、時間を決めて

ですね、営業時間を決めて、なるべく常設したいなど。私もこればかりやっている訳でもないの、常にそこにいられませんから、予約制みたいな形にして、その時間になったらそこに行くみたいな運用でできればなど考えています。

座間委員 やっぱり常設となると人員なんかかね、かなり問題かなと思って聞かせていただいたので。

団体 時間も無駄になりますので。基本的には完全予約制です。

座間委員 予約に関してはすべてSNSを使ってされるのですか。

団体 いえ、すでに予約サイトがありまして。今、コミュニティ清和の空き家活用グループで、空き家相談会をやっているんですけど、それもすべて予約サイトで、カレンダーから自分の希望日を選んで入れられるようになっています。それが私の方に来て、自分のスケジュールと合わせて、その時間で行けるようだったら、行けますよと連絡して、今は、コミュニティ清和の事務所で面談をしています。

座間委員 コンシェルジュは何人くらいいるのですか。

団体 今は私だけです。

座間委員 動員人数がわかったら教えてください。

団体 動員人数はですね、トラック市がちょっとわかんないですね。結構来たかなと思いますよ。

あとは、やれるスタッフが限られているので、あんまりいっぱい来られても目が行き届かなくて、ある程度、目の届く範囲じゃないとできないんで。多くて30人とか40人とか、そのくらいでやっています。

四宮委員 予算のところの質問をしてもよろしいですか。まず、協賛金で10万円の協賛スポンサーというのはもう決まっているのでしょうか。

団体 まだ決まっていないです。これから募集します。

四宮委員 これくらい集めようってことですか。

団体 これくらいは集めたいと思っています。できれば、こういう案件なんで、観光関連なのか、レンタカー会社だとか、不動産会社とか、その辺かなと思います。

四宮委員 この下のクラウドファンディングで調達というのは、もう始まっているんですか。

団体 まだ始まっておりません。この企画が通ってからになります。クラウドファンディングに関しては、彼女の方が得意なので、すでに色々な実績がありますので、ノウハウを持っています。

四宮委員 もしクラウドファンディングでなかなか集まらないみたいなことになったら、それはそれでやっていくということでしょうか。

- 団体 それはそれで、この予算の中でやりくりします。基本的に持ち出しはしません。
- 四宮委員 そうすると、12番の使用料65万というのは、ウェルカムハウスを借りた時の家賃ということでしょうか。
- 団体 借りた時の家賃とかですね。家賃についても、今は、こういう企画を説明して、1年間ちょっと家賃は免除で貸してくださいっていうことで。
- 四宮委員 まだ家が決まっていないんで、あれなんでしょうけど。
- 団体 あくまで計画上の数字が入っています。これが全部使うっていうわけではないです。マックスこれくらいかかるだろうなという感じです。
- あとは切り詰めて、家賃をなしで交渉する、広告はかけないとか、色々なやりくりは十分可能です。
- 嶋野委員 情報発信として、SNSとおっしゃいましたが、その他は何か考えていますか。
- 団体 SNS、ホームページ、あとは、都心からのお客様を呼びたいので、Google広告を少しかけようかなと思っています。所謂、キーワードをGoogleで検索したときに、広告がテキストで表示されるものがあると思うんですが、ああいうものを予算の範囲の中で少しやろうかなと。あまりお金をかけるつもりはないんですけども、それはやろうかなと考えています。
- それには2点理由があって、それをかけることによって、我々が思いもつかないような人の目に触れる機会があること。あとは、Googleの検索をした時に、広告をかけると、検索順位が上位表示されていくんです。そういうような2点の要素があるので、Google広告を若干かけたいと思います。
- 嶋野委員 事業計画年度ということで、今年度から25年度までとなっていますけど、これはあくまで、まちづくり事業という形の事業計画の3年間ということで、これはこのまま続けていくということですよ。
- 団体 続けていきたいです。ここのハウスでやるか、秋元小の方でやるか、場所をどうするかというのは、今後まだわからないですけど、やはりこういう活動は必要だと思いますので、長く続けていきたいです。繰り返しやることによって、我々もノウハウがたまりまして、色々な成功事例が生まれてきます。今度はその成功事例のマッチングの事例をSNSやホームページで見せると、今度は自分も自分もっていう形でいい循環が生まれますので、それには最低3年は続けないと結果は出ないかなと思っています。
- 嶋野委員 3年だと短いと思うので、頑張ってください。
- 団体 続けていきたいですし、このビジネスモデルできちんと収益が上がるよ

うな形に育てていきたいと思います。

新田委員 売買についてお尋ねします。金額によっては収益が発生すると思いますが、それはどなたがどのように管理をされるのですか。

団体 家の売買でしょうか。家の売買は、基本的に我々は、収益は取らないです。

新田委員 そうすると、不動産屋さんは入らない？

団体 実際に契約をするときになると、君津市と連携協定をやっている不動産、宅建業協会がありますので、そこで色々な手続きをするような形になります。

榎本委員長 市に空き家バンクという組織があって、そこで空き家を市に申し込むんです。こんな空き家があるんだけどどうにかならないの、という市民の相談を窓口で受け付けて、実際買い手がいれば、そこで業者が動くんです。

団体 我々は宅建業者じゃありませんので、そこで契約だとか、手数料を取ったりとかはできないんで、あくまでも結びつけるだけ。我々が利益上がるのは、アクティビティの売り上げだとか、イベントの出店料だとか、そういうようなところが収益になります。

新田委員 特に問題はないという理解でよろしいわけですね。

榎本委員長 これはもう何年も前からやっているんですが、特に問題になったことはないのです。

団体 本当は、市でそういうような窓口があって、カウンターがあって、やればいいんですけど、現状ちょっとできていないんで、我々のハウスの方でそういう活動を先行してやっていきたいということでございます。

藤川委員 私も中野に住んでいます。中野にもかなり空き家が増えてきている。清和以外の空き家対策、これには関与されないのか。

団体 もちろん、やりますよ。今日はコミュニティ清和としてご説明に上がっているのです。私は君津市の空き家対策をやっていますので、あとで名刺を渡させてください。

藤川委員 活動の内容の中で12項目挙げておられますが、呼び込み機能とか、地域支えあい機能とか、地域振興機能、この辺について、今までご説明いただいていないことで何かありましたらお願いします。

団体 まだまだたくさんありまして、まだ企画が実際に動いていないのがあるんですけども、コミュニティ清和のホームページがございますので、この中に色々な活動チームがございます。こちらのホームページに我々の活動が全部掲載しておりますので、お時間のある時にお目通しいただければと思います。

藤川委員 サロン機能も兼ね備えるということで考えていいのですか。

団体 サロンはできないかなと思いますね。

藤川委員 人が色々集まって、話し合うとか団らんするとか。

団体 できればそういう場にしたいと思いますが、それだけのスペースが取れる部屋が見つかるかだとか、駐車場が一緒にあるかどうかによって、サロン機能まで作れるかは、物件次第かなと思います。

藤川委員 最後ですけど、今日、火曜日は「いいいじゅー!!」というのをNHKで毎週やっています。あれに出るように頑張ってください。ぜひ見たいので。非常にいい番組なんで、ぜひ清和コミュニティで。

団体 じゃあ、売り込んでいきますね。

事業番号 10

事業名 地域の医療サポート

団体名 Link Community Care

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号10番、事業名「地域の医療サポート」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は10分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 画面共有にて説明 —

質疑応答

永井委員 皆さんの収入源はどこからになるのでしょうか。

団体 日中、私たちは仕事をしているので、まずはボランティアでさせていただいて、地域にどれくらいのニーズがあって、どれくらい私たちが活動することで、それが満たされるか、その人たちのためになっているのかというのを、実績を今作っているような段階で、これから、きちんと独立できるようにになったら、収入源のことも考えていかなければいけないと思っています。

永井委員 事業化するという事は、どこからかお金をとっていかなければいけないわけですね。どこからと考えているのですか。

団体 今は手探り状態で、情報や実績を集めている段階なのですが、やりながら考えていっている段階です。

藤川委員 ご説明を聞いていると、包括ケアシステムで救えない人、いわゆる介護認定で要介護、要支援を受けた人は色々使えますよね。ケアマネージャーや訪問介護、デイサービス使えますよね。そういう対象から漏れた人を、皆さんが救うという風にみているのでしょうか。

団体 今、介護制度から漏れた方という話があったんですが、実は介護を利用していても、施設に入っている、病院に連れて行くというのは、施設の負担や家族にお願いして連れて行ってもらうという形なので、そういう点でも、私たちの、地域でやってくれる人がいるというのは、ご家族の負担軽減という部分で、すごく役立つのではないかと考えています。

藤川委員 包括ケアシステムで、大々的に国の制度として困った人を救うシステムがあるけれども、それに漏れている人がかなりあるという実態を聞いているので、皆さんが頑張られるのは非常にいいことだと思います。

それから、外箕輪でやるということですが、それ以外に自治会が増えた場合、皆さん5人だけじゃとてもできないと思うんですね。その時、どういようにスタッフを増やしていこうとお考えなのか。

団体 現在、私たちが一緒に活動しようとしている看護師さん、医療者の方は、潜在看護師さんと言って、現場で働いていない、何らかの理由で退職されたとか、病気があって現場になかなか戻れない看護師さんがたくさんいらっしゃいますので、そこは今、看護協会の方にも、こういった活動をしているので、現場に戻る前段階のワンステップとして、私たちのこの活動を勧めてくださいということで、調整はしているような状況です。

まだ、外箕輪地域でしか活動できていませんが、今後、自分のところの自治会でもとかっていう話は、本当にたくさんいただいているので、このような環境が整い次第、すぐにでもスタートしたいと考えています。

さっきの収入源の件と重複してしましますが、一般社団法人として申請をしようとも思っているの、そこから助成金をいただいたりとか、そういったことをしながら、まず今はボランティア活動で行って、その都度、その都度、事業化していくことも視野に入れて活動はしていこうと思っています。

マンパワーが最初はちょっとないんですが、少しずつ広げていこうと思っています。

藤川委員 その際に考えていただいた方がいいと思うのは、今、君津市は65歳以上の高齢者が3人に1人いるんです。その中で70代の方が1万何人いるんです。その半分以上が女性なんですね。元看護師さんという話があったが、それ以外の元気な高齢者、この人たちの、特に男性ですね。働きたい、社会貢献をしたいという人がかなりいるということが予想されるんです。全国的にかなり高いです。そういう元気な高齢者を、みなさんの立派なテーマに取り込んでいく、そういうことをぜひお考えになった方がいいのではないかと感じましたので一言。頑張ってください。

団体 ありがとうございます。私たち、何か提供して差し上げるというスタン

スよりも、本当に元気な高齢の方が多く、逆に私たちの方がお願いすることの方が多くて、それを頼んでお願いして、ありがとうっていう、これだけでも、この目的は成立しているようなものだなど、活動の中で感じました。

だから、私たちが労力を使ってして差し上げるということではないのかなというふうに考えております。地域の方を頼って、たくさんのありがとうを届けていくのもひとつだと思っています。ありがとうございます。

新田委員

何点かお尋ねしたいのですが、外箕輪地区における実績というか、何年くらい活動されて、どのような問題点が発生したのかというのがひとつ。

それから、ここでいきなり君津市全域にわたって、そういった活動がしたいと。先ほど皆さんから懸念事項がございますが、非常になんとなく背伸びをしすぎているような印象があります。例えば、医師会との接点をどのようにして持っていかれるのか。例えば、お宅のメンバーが、どここの病院に連絡を取った時に、医師会との関係において「いやいやそんなことは知りません」というようなことが発生するかもわからない。その辺の懸念をどう対応されているのか、それらも含めてお尋ねできますか。

団体

まず、1点目の活動についてなんですけど、実質的には2020年の10月頃から外箕輪自治会に所属するようになって、ボランティアで活動しているんですけど、最初は回覧板でチラシを配布して、ただ、皆さん慣れないサービスなので、なかなかそこから依頼はこないですが、やっぱり、地域の方々からの、第三者からの依頼は多いです。隣の人がちょっと心配だから行ってあげて、挨拶だけでも行ってあげてもらえないとか、そういったところからスタートしています。

地域の問題というのは、病院があっても元気がないと行けないとか、情報をどこからどう取ったらいいかわからないとか、受診したくてもネットが使えないと利用できないとか。現状でも、たくさん問題があるというふうに直面しました。

ひとりの人に対して一つの問題。それを解決、相談に乗ったらおしまいかといったら本当にそうではなくて。ひとりの人の一つの問題から紐づく色々な問題があるっていうふうに直面していて、相談に乗るだけじゃ全然解決にならないなというふうに感じていました。

相談に乗って、橋渡しをして、調整をして、やっとその方の満足度があるというのを確信いたしました。

現に今、対応している方で、こういう場所で話していいと言ってくださっている方がいらっしゃるので事例を紹介します。

50代の男性で、15年前に脳梗塞を患って、病状は何も変わっていな

いの、良くもなっていないのに、介護度が軽くなっていたんですね。2から1になっていて、それに対して本人も疑問に思っていたけども、いわれるがままずっといたようです。そこに対して、地域の方が、それを耳にして「ちょっとおかしいんじゃないか」ってことで、私に相談があって、本人に色々聞いたら、やっぱり不信感が芽生えていたので、包括の方にも相談して、ご本人と一緒に介護の窓口に行って、本人の思いを伝えたところ、再調整することができて、安心したというふうにおっしゃって、趣味の歌を始めることができました。地域の方をきちんと調整までして、はじめて満足につながるとういのは認識しました。

君津市の全域で私はこれを広めたいというふうに思って、本当に背伸びしているというのは、私たちも、ここまで最初はできるかなというのは思ったんです。しかもボランティアで、日中仕事している状況で、継続しなきゃいけないということを考えると、どうなんだろうというのは思ったんですけれども、これを事業化したいというのは勿論ありますし、目の前の困っている人たちのことを、誰のための活動かというのを考えると、ここまでしなきゃいけないから、それをするためにどうしようかというので、私たちも調整をしてという形でなんとか対応はできております。

新田委員

一番懸念されるのは、団体が医師会に認知されている機関なのかどうか、これによっては君津市が事業を奨励するわけなんです。だから、もし何かあると、君津市にその責任が掛かってくるわけなんですね。私が懸念しているのは、そういう意味で医師会に申し出た経緯はあるのか、それに対して、医師会はどういう答えを出しているのか、或いは今後どうされるのかということをお尋ねしたいです。

団体

医師会の方には、相談は今、しておりまして、そこで調整をこれからする段階ではあるのですけれども、それを待っていると時間がかかるので、地域にあるクリニックの先生たちには、こういった活動をしていますということで挨拶周りはしております。何かあった時には、患者さんの受け入れをお願いしますということで、挨拶周りとお私達の活動の趣旨等は伝えております。ただ、医師会との調整はまだまだ時間がかかるかなと思っています。

新田議員

出前診療とかあるじゃないですか。その存在と、この団体の活動の取り扱いに対して、医師会はどう判断するのかということところが非常に不安というか、そういうところがあるのですが、今のところは回答待ちということですね。

鈴木委員

今おっしゃったケースで、それは普通、民生委員が待機していますよね。民生委員との関係はどうなっているんですか。

- 団体 一番は本人の許可が得られた場合、こういった内容を民生委員さんに伝えていいですかということでOKができれば、民生委員さんに伝えていきます。民生委員さんからの依頼に関しては、民生委員さんからまずご本人に「こういった看護師が来る」ということの承諾を得てもらって、個人情報の面でも承諾を得てもらった時点で、初めて私たちが伺うというパターンです。
- 鈴木委員 通常、民生委員が住民の方から相談を受けたときに、まずは自治会長に話して、包括センターにも相談しているんですけど、そこにあなたたちの団体がどう関わっていくのかがよくわからないんですけど。
- 団体 私たちは、アドバイスとしてお伝えすることはありますが、自治会とか民生委員さんと個人情報が流れる場所で、私たちが一緒に入って何かするというのはしません。個人情報の観点からそれはしないです。依頼があって、民生委員さんのサポートが必要となった場合は、民生委員さんにお伝えをして、それに対応してもらってということは、本人の許可があった場合はしております。
- 鈴木委員 民生委員とはまったく別のエリアで動くということなんですか。
- 団体 そうです。本当は連携したいのですが、やっぱり個人情報の観点から、まだまだ課題が多いので、今できることというと、本人から承諾をもらって、必要な情報のみお伝えして、関わるところに関わって、医療の観点からの情報とかをお伝えしたり、そういった関りはしています。
- 鈴木委員 この活動はすごいなと思ってね。いいなとは思いますが、なんか難しそうでね。実際に機能するのかなというのが心配でね。そういう自信はあるんですか。
- 団体 自信だけはあります。
- 地域の方から、利用してよかったという声が多くあって、アンケートも求めているんですけど、ほとんどの方っていうか、今のところ100人いたら100%、利用してよかったというお声があるので、やることに関しての意義は凄く感じております。ただ、先ほどもおっしゃっていただいたように、継続できるようにするというのは今後の課題でもあります。
- 鈴木委員 そちらが抱えている人たちの、さっきも言ったけど給料が、出るようにしないと長続きしないような気がするんでね。だって看護師さんって、私、病院によく行くから見てるけど、大変な仕事をしている人たちだから、それをまたボランティアでやるっていうのは大変だと思って、ちょっと心配です。立派なことだと思うんで、いいとは思いますが。
- 榎本委員長 役員さんの中に自治会長と前年度自治会長がいるけど、この人たちが、例えばアドバイスしちゃったらどうする？

- 団体 中には、やはり自治会長さんや役員の方たちもいらっしゃるんですね。そういった方たちは、医療的なサポートっていうのは限界があるので、自分たちができるところの線引きっていうのは、はっきり調整はしております。
- 榎本委員長 勿論、医療の経験なんかない人だからね。この人たちが入っている理由がよくわからないね。あなたたちの崇高な考えの中に、ただ自治会長だから入っているっていうのは、よくわかんないね。
- 藤川委員 団体の名称が英語になっているんですけど、日本語で親しまれるような名前にされた方がいいんじゃないかという気がします。
- それからね、もう一点、色々懸念事項が出てきましたけど、こういう新しい立派な仕事をする前は、絶対に色々なバリアがあるんです。バリアを潰していくことで、大変だけど、それが非常にいい勉強になり、いい仕事になるんで、絶対に負けないで頑張ってください。
- それからね、2050年問題でね、政府が懇談会みたいなものを作ってね、2050年まであと27年だけでも、そこに集う館というのが提案されているんです。その中に、あなたたちの考えるものが少し入っているような気がする。だから絶対に、問題は色々あるのはわかるけれども、潰していけばいいんですからね。応援者は絶対に出てくる。頑張ってください。
- 団体 おっしゃる通りで、目の前のこと、一つ一つ、こなしながら、果たしながら、これを続けていきたいと思っています。この勢いだけでやるって感じでも私たちはないので、長く続けられるように頑張ります。
- あと、自治会長さんの件なんですけど、自治会長さんは私たちの活動を本当にサポートしてくださっているんです。私たちが全面的に活動をして、そのサポート役という形なので、一緒に医療サポートをするというよりは、一緒に関係を作ってくださいという意味で仲間に入ってください。

事業番号 11

事業名 清和の魅力探訪ウォーク

団体名 いきいき清和

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号11番、事業名「清和の魅力探訪ウォーク」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は10分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 ー 配布資料にて説明 ー

質疑応答

藤川委員

10月7日に予定されているのは、どこのウォーキングですか。

団体

西栗倉と清和市場、あと日渡根です。秋元城を中心に清和市場の諏訪神社、そういうところも一緒に周るという計画をしております。

藤川委員

今まで10回やられた中で、鹿野山に絡むものが二つあるように思いますが、鹿野山の古道ですね。これは5ルートくらいあると聞いたことがあるんですが、愛彩の会の人に聞きましたら、うまくみんなが動けないような、ウォーキングできないような状況もあるようです。1コースだけなんとか歩けるということも聞いているんですけど、この辺の開発というか、行事の中にうまく取り入れていただくと、鹿野山全体の地域開発にもつながると思うんですけどね。お宅のエリアからちょっと離れるのかもしれませんが、その辺どういうふうにお考えになっているのか、お聞かせください。

団体

今まで、鹿野山につきましては、九十九谷から神野寺、そのあとの国土地理院とか、東山、大塚屋旅館に展示されている屏風とか、いろんなところがありますので、そういうものを2回に分けて見て周りました。古道につきましても、これから鹿野山の地域の皆さんと愛彩の会のようなところとタイアップしながらやっていきたいというように考えております。

藤川委員

もう一点、質問ではなく提案ですけども、これだけ立派なウォーキングをやっておられるので、東京、神奈川、色々なところからたくさんウォーキング参加したい人もいると思うんですね。ある地域では、地域の高齢者が駅にいて、観光のガイド役的なことをやっているところがあると聞いています。君津駅の南口でうまくPRをされるようなこともやられると地域以外の方も来られるのではないかと。その辺もご検討なさっていただいたらいいんじゃないかと思えます。

団体

私ども、ウォークをやるためには、ファミリア新聞とかFacebookとか色々な中でやっておりまして、木更津、袖ヶ浦、その辺の方には参加していただいています。都心部の方からは、なかなか来ないのが現状なものですから、どのようにしていったいいのかというのも検討の課題となっておりますので、今後、検討していきたいと思えます。

四宮委員

いくつか教えてください。この参加者募集の紙の一番下に、主催が清和地区の体協になっているんですけど、公民館といきいき清和さんが共催っていう形で。実際は、いきいき清和さんがすごく頑張っているっていう感じですか。

団体

これについては、歩くとか、そういう運動の関係もあったもので、それ

で地区の体育協会がやって、三者ということで、協力しながらやっているというのが、現状でございます。

四宮委員 上総地区は、公民館とか分館でこういったウォーキングをやっているんですね。それに外部というか、他が入ってというのはあまりなかったの。それと、こちらの予算を見ると、印刷製本費がほとんどを占めていて、300部作るってあるんですが、これはどういったふうに配布予定なんですか。

団体 これは、当日参加された方とか、旧秋元小学校の施設ができますので、そこに資料を設置したり、欲しい方がいけば取りに来ていただいて、見て自分で行ってもらおうということもあるんですけども、だいたい希望者に配布というのが主なところでございます。

事業番号 12

事業名 災害対策及び環境整備

団体名 こいとのきこり隊

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号12番、事業名「災害対策及び環境整備」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 画面共有にて説明 —

質疑応答

座間委員 竹チップを作るチップーは誰がお持ちなんですか。

団体 誰も持っていません。

座間委員 レンタルですか。

団体 1回49,500円。所有者が1日働いてくれるんで、人件費も含めてということなんですけども。なので、前は3回お願いしました。15万円。だからほとんどこれに費やすような状態です。

本当はこの補助金に応募しようと思ってなかったんですね。200万円かかるんですけど、国が100万円補助してくれるというんで、そちらに応募して、自分で100万円出そうかなと思っていたら、「お金が削られちゃいました。だめです。」って言われちゃったんで。なんか詐欺にあったような状態で。申し訳ないんですけども、事務局にお願いして、ぎりぎりのところを、今回申し込んだという経緯があります。

四宮委員 だから、ここにチップーの項目がないんですね。そっちに助成をかけて

たのでね。わかりました。誰か持っているのかなと思ったので。あれだけのものは、結構大金ですからね。

団体 ですから、これを市が買ってくれて、補助してくれれば、小糸川はきれいになるんですよ。本当にきれいになる。絶対にきれいになる。僕はしてみたいと思うんですよ。それをお願いしたいと思って、今日来たんです。

新田委員 昨年の事業の評価の中に、そのまま読ませていただくと、「自治会総会で主旨説明を求められたり、活動中止の動議があった。ボランティア活動が根付いていないため、広く周知することも必要であると認識した。また、3月5日の活動中に木の枝が頭部に当たる事故があった。今後は、ヘルメットを必ず着用すること、作業場所の危険確認を徹底させたい。」それから、併せて「次年度は、森林山村多面的機能発揮対策交付金にて粉砕機を購入し、災害対策及び環境整備並びに獣害対策を継続したい。」というふうに記載をされているんですけども、今、言われたさっきの話がこれでしょうか。手続きはしたんでしょうか。

団体 していません。事前に説明に行ったんですね、説明会に参加したら、もちろんその前に2、3回担当者の方と会って、粉砕機を買えるということで、ずっと話が進んでいたのに、申請開始1週間前に事前説明会があって、そこで、「全体のキャパの補助金が削られました。だから、あなたが100万円を申し込んじゃうと、他に補助金が回らなくなってしまうので、99%無理です。」と言われたんで、それじゃあ、そこに申し込む意味がないんで、急遽こちらに代えさせていただいたという経緯です。

新田委員 それと、前段の方は、自治会の件。

団体 自治会の方は、若い人たちが大変だと。これはもう正直なところ、ずっと働いてきて、日曜日は休みたいというところで、月2回出てきてくれて、ほとんど出てこなかったんですけど、ちょっとそれは心苦しいみたいなところがあると。それで、総会の時に、自治会としてこれは辞めてほしいと。ボランティアとして考えていたので、自治会っていうことをうたってはいなかったんですけど、ちょっと勘違いしたところもあって、自治会としてはやりませんということで、決をとったら、誰もやりたいという人がいなかったということです。その後、年配の人は、この前はごめんねというところで、呆れていたというところで。ボランティアが根付いていないわけではないのですが、色々な人がいるので。広く募集をかけて、ある程度人数がいないとこれは解決できないので。そういう面では視野が広がったと考えれば、よかったのかなと思います。

新田委員 それとですね、Y o u t u b e で竹林の問題について取り上げている動画があって、竹林の増殖を防ぐためには、U字溝を掘ればいいと。

50cmくらいの穴を掘ると、それ以上は増殖しないと。

団体 どうやって掘るんですか。

新田委員 ユンボでもなんでもいい。

団体 竹とかを遮断するってことですか。

新田委員 増殖させないためには、通路にU字溝を掘ればいいんです。そうすると、通路側はもうそれ以上、繁殖はしないと。

団体 そこから先はですね。

新田委員 非常に参考になったので、よろしければ、一度お調べになっていただいて、試験的にやってみられると随分違うんじゃないかなと思いました。

団体 幅が20～30mくらいあって、長さが1kmあるんです。どこにU字溝を掘ろうかなと。

新田委員 その写真の通路と竹林との境界線を掘ればいいんじゃないですか。

団体 まずは、この状態（荒れた竹林）をこの状態（通路が整備された竹林）にして、それから竹林が通路に入っこないようにU字溝を掘るってことですね。

まだそこまでいってないんです。まだこの状態（荒れた竹林）なので、それをまず切って、根っこを取って、撒いて、これをまずは続けていかないといけないんです。川沿い、1kmあるんです。

これができたら今度はU字溝を掘って、この状態が維持できるような形で保全をしていくということですね。

新田委員 小糸川だけじゃなくて、小櫃川もありますしね。そうすると、君津の課題を、県になるかもしれないけど、試験的にやっていただくと、その効果を、実績をもって県の方に申し込みをするとか。

団体 ぜひユンボを借りる費用も出していただけると。もしそれで、本当に止まるのであれば、そんな方法もいい。

ただ、河川の側なので、切ることの許可はとっているんですが、土木の許可は掘削とかとなると、またどうなるかわかりませんが。わかりました。

藤川委員 竹木の利用ということで、竹炭、粉碎飼料、タケノコとなっていますけども、まず一点は、粉碎飼料。これは、昨日か一昨日のニュースで聞いたんですけど、豚の飼料にいれると、非常に豚の成育がいいという話が出ていました。

それから、タケノコを漬物にするという。干してね。メンマみたいね。

竹炭については、小糸の森林体験センターかな、あそこで竹炭、私も体験させてもらったんだけど、中心メンバーが亡くなられて、今はやっていない。ガランとしている。お宅でも作られているんですか。

団体 まだです。基本的に燃すことはどうなのかなと思っているんで、いずれは切ったのがありますので、竹炭なんかも売ることができるのかなと。一定の収入を得ないと継続できませんので、そういったものも含めて考えています。今の段階では、ぜひやりたいと思っています。

藤川委員 それから、小糸川の周辺にジョギングコースがありますね。私はその近くに住んでいるんですけど。その終点に近いようなところに、ものすごい川にはみ出て、竹藪がけっこうあるんですね。あれは河川管理者である県が、きちんと整備しなくちゃいけないと思うんですね。そういうことが、皆さんの仕事をこの地域でずっと拡大して、ぜひそうやって県から料金ももらってね。

団体 それが多面的の補助金だったんです。

藤川委員 それは絶対、今後頑張ってもらって、これが事業化できると思うんですよ。絶対。

それからね、先ほどの自治会でやったけど来る人が少なくなったから70歳以上の人に来てもらっているということ。70歳以上の働きたい人が君津にたくさんいます。それを組織化して、収入をちょっとでも与えられるような事業化をぜひやっていただきたいね。

ボランティアだけじゃなくて。新規事業に絶対なる。あなたが社長になれる。頑張ってもらいたい。70歳から80歳くらいまでは元気で働けるから。思い付きで失礼ですけど、ぜひ事業化をやっていただきたいです。

議題2 「令和5年度2次募集申請事業の採択協議について」(非公開)

議題3 「令和4年度実施事業の実績報告について」

榎本委員長 次に議題3「令和4年度実施事業の実績報告について」事務局からの説明を求めます。

事務局 それでは、令和4年度実施事業の実績について、説明いたします。

お手元の水色のファイルの後方に綴られております「実績報告」とインデックスの貼られたページをお開きください。

はじめに、2の「実施事業」についてですが、令和4年度は、11事業が採択されており、全体の決算事業額は327万4,789円、補助金額は254万7,274円となっております。

内訳につきましては、1枚めくっていただきまして、一覧表のとおりとなります。右から3列目の「事業費(決算)」が事業にかかった全ての費用の決算額になります。右から2列目の「交付確定額」が最終的な補助金の交付金額になります。事業費(決算)と交付確定額が、異なる団体もございます

が、そちらについては、事業費に対して、7割分を補助する区分や補助金の限度額が設けられている区分がありますので、そのようになっております。

また、元のページに戻っていただいてよろしいでしょうか。

概ね予定通り事業が実施されましたが、予算額に対し決算額が大きく変動した事業については、3の「事業説明」として、まとめて記載をさせていただいておりますので、ご確認ください。

それでは、各事業の令和4年度の活動内容等につきまして、ご説明させていただきます。

まず、インデックスの「1番」をお開きください。

事業の名称は「地域内道路環境の美化推進事業」で、団体名は「利根道路美化推進班」、事業区分は「地域ボランティア」となります。

実施内容といたしましては、利根地域の市道・県道の路肩の草刈及び美化活動や、植栽柵への草花の植付け等を行いました。写真は、花の植栽を行っている様子と、道路の除草作業の成果です。

インデックスの「2番」をお開きください。

事業の名称は「宮下川環境美化推進事業」で、団体名は「宮下緑地をきれいにする会」、事業区分は「地域ボランティア」となります。

実施内容といたしましては、宮下川流域の除草作業や清掃活動及び、ニッコウキスゲの植栽や管理を行いました。写真は、植栽及び管理を行ったニッコウキスゲと、宮下川沿いの様子です。

インデックスの「3番」をお開きください。

事業の名称は「小櫃のふるさと環境整備」で、団体名は「小櫃地域ふるさと活性化組合(そうじいや)」、事業区分は「地域ボランティア」となります。

実施内容といたしましては、小櫃地区の県道・国道の草刈や砂取り等の環境美化活動や、通学路周辺への花の植栽と管理を行いました。写真は、草刈及び砂取りなどの道路の環境美化活動を行う様子です。

インデックスの「4番」をお開きください。

事業の名称は「SCP(清和コミュニティパーク)創造プロジェクト」で、団体名は「SCP創り隊」、事業区分は「子どもの居場所づくり」となります。

実施内容といたしましては、清和小学校にて、放課後こども教室の実施や、かわら版の発行を行いました。写真は、放課後こども教室の様子です。

インデックスの「5番」をお開きください。

事業の名称は「かずさっ子の居場所づくり」で、団体名は「かずさっ子クラブ」、事業区分は「子どもの居場所づくり」となります。

実施内容といたしましては、上総小学校や君津市森林体験交流センター

にて、毎週木曜日の放課後に子どもたちの見守りの実施や、休日にはバスハイクやかずさっ子祭りを開催しました。写真は、放課後こども教室や、マザー牧場へのバスハイク、川遊びなどの様子です。

インデックスの「6番」をお開きください。

事業の名称は「災害対策及び環境整備」で、団体名は「こいのきこり隊」、事業区分は「地域ボランティア」となります。

実施内容といたしましては、行馬地区の小糸川沿いの竹林を対象に、伐採作業や伐採した竹の処理作業等を行いました。写真は、竹林の伐採作業の様子です。

インデックスの「7番」をお開きください。

事業の名称は「福祉のまちづくりを推進するプロジェクト」で、団体名は「プロジェクトK」、事業区分は「自由企画」となります。

実施内容といたしましては、障がいを持つ方の生活の様子等取材し、動画で紹介しました。また、生涯学習交流センターにて、中学生を対象に車いすで買い物体験を行う体験型フォーラムの開催や、君津市役所にて、君津市障害者週間イベントで活動の紹介を行いました。写真は、福祉体験フォーラムと障害者週間イベントの様子です。

インデックスの「8番」をお開きください。

事業の名称は「猫と人間とが共存できる環境づくり」で、団体名は「猫レンジャー」、事業区分は「自由企画」となります。

実施内容といたしましては、月2回ジョイフル本田のペットセンターにて譲渡会を行い、3月末までに104匹の保護猫を譲渡しました。また、野良猫の捕獲をし、避妊去勢手術を行い、元の場所へ返すという支援も行っており、497匹の野良猫を避妊去勢手術に繋げることができました。写真は、猫の保護シェルターと譲渡会の様子です。

インデックスの「9番」をお開きください。

事業の名称は「SEIWAアイデアソン Season2」で、団体名は「NPO法人いきいき清和」、事業区分は「自由企画」となります。

実施内容といたしましては、小学生3年生から中学3年生を対象に清和地区内の施設にて、プログラミング教室を行いました。1年間続けて参加するものになっており、前半はプログラミングの授業を行いました。後半は、魅力的な君津にするためには何が必要か、皆でアイデアを出し合い、議論し、意見をまとめて発表する発表会を行いました。写真は、前半のプログラミング教室と後半のアイデアソンの様子です。

インデックスの「10番」をお開きください。

事業の名称は「郡ダム遊歩道等整備事業」で、団体名は「NPO法人森林

デザイン研究所」、事業区分は「地域ボランティア」となります。

実施内容といたしましては、郡ダムの湖畔の草原及びビューポイントや湖畔に通じる道の草刈を行いました。写真は、郡ダム周辺の草刈の様子です。

インデックスの「11番」をお開きください。

事業の名称は「君津青葉高校生と取り組む久留里・上総小櫃地区花いっぱい運動」で、団体名は「君津青葉花いっぱい委員会」、事業区分は「未来の担い手」となります。

実施内容といたしましては、花壇に植栽する草花や植え付け方法を検討し、定植方法や管理方法の説明会を上総・小櫃地区の各団体向けに行いました。また、地域の小中学校に訪問し、卒業式装飾用の鉢花の装飾方法や管理方法の説明会も行いました。写真は、説明会の様子と小学生と一緒に鉢カバーの装飾を行っている様子です。

以上になります。

榎本委員長 事務局の説明が終わりました。

ご質問などがありましたらお願いいたします。

(発言するものなし)

閉会(午後4時)